

## 中京大学体育学部における就職状況とインターンシップ

菊池秀夫

中京大学 体育学部 助教授



### 要 約

本稿では、中京大学体育学部における学生の進路選択状況を紹介するとともに、現行のインターンシッププログラムの内容とその進め方、また学生のプログラム参加状況を説明し、体育学部としての取り組みと課題について検討する。本学のインターンシッププログラムは大学キャリアセンター（就職部）によって全学的に運営されており、単位認定等の位置づけについては各学部によって対応が異なっている。体育学部に関しては、健康科学科の一部の科目履修とインターンシップが連動する形で単位認定を行っている。したがって、単位認定はかなり限定的であり、体育学部での参加学生の多くは無単位のオプションプログラムとして臨んでいるのが現状である。しかし、参加学生の評価は総じて良好である。単位認定の有無にかかわらず、参加した学生の多くはインターンシップ経験に満足しており、その有用性を認めている。このように、プログラムの目的もかなりの程度達成されているものと思われる。体育教員以外の就職先開拓の必要性は以前から指摘されているが、今日体育学部としても、より一層の積極的な取り組みが迫られている。そのような状況で、インターンシップは学生のキャリア意識を向上させ、具体的なキャリア計画を立てさせるのに極めて有効な機会を提供するものと考えられる。現在、学部としてインターンシップの単位制度化等、より積極的な取り組みを検討しているが、受入先の開拓や受入先と学生とのマッチング、事前事後指導の充実など更に検討すべき課題は多い。